

宇野港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成31年1月

宇野港港湾管理者
岡山県

目 次

1	変 更 理 由	1
2	施設計画に関する資料	2
2-1	旅客船埠頭計画	2
3	その他の資料	
3-1	環境の保全に関する資料	3
3-2	新旧法線対象図	4
3-3	岡山県地方港湾審議会宇野港部会委員名簿	5

1 変更理由

- 1 レクリエーション需要の変化に対応するとともに、地域における官民連携による臨海部の賑わいづくりに向けた取り組みに資するため、宇野地区に旅客船埠頭計画を追加する。

2 施設計画に関する資料

2-1 旅客船埠頭計画

(1) 計画の必要性

レクリエーション需要の変化に対応するとともに、地域における官民連携による臨海部の賑わいづくりに向けた取り組みに資するため、以下の施設について計画を追加する。

(2) 施設の規模及び配置

旅客船埠頭計画の規模及び配置は、次に示すとおりである。

表 2.1 旅客船埠頭計画

地区名	対象船舶	公専別	施 設	施設規模	状 況	今回計画
宇野地区	30,000G/T 級	公 共	岸 壁	延長 280m 水深 10m	既 設	変更なし
	3,000G/T 級	公 共	岸 壁	延長 120m 水深 5m	既 設	変更なし
	100G/T 級 (定期及び遊覧船)	公 共	浮棧橋	基数 2 基 水深 3m	既 設	変更なし
	100G/T 級 (ビジター及びチャーター船)	公 共	浮棧橋	基数 3 基 水深 3m	既定計画	変更なし
	10G/T 級 (瀬戸内海クルージング)	専 用	浮棧橋	基数 1 基 水深 3m	—	新規計画

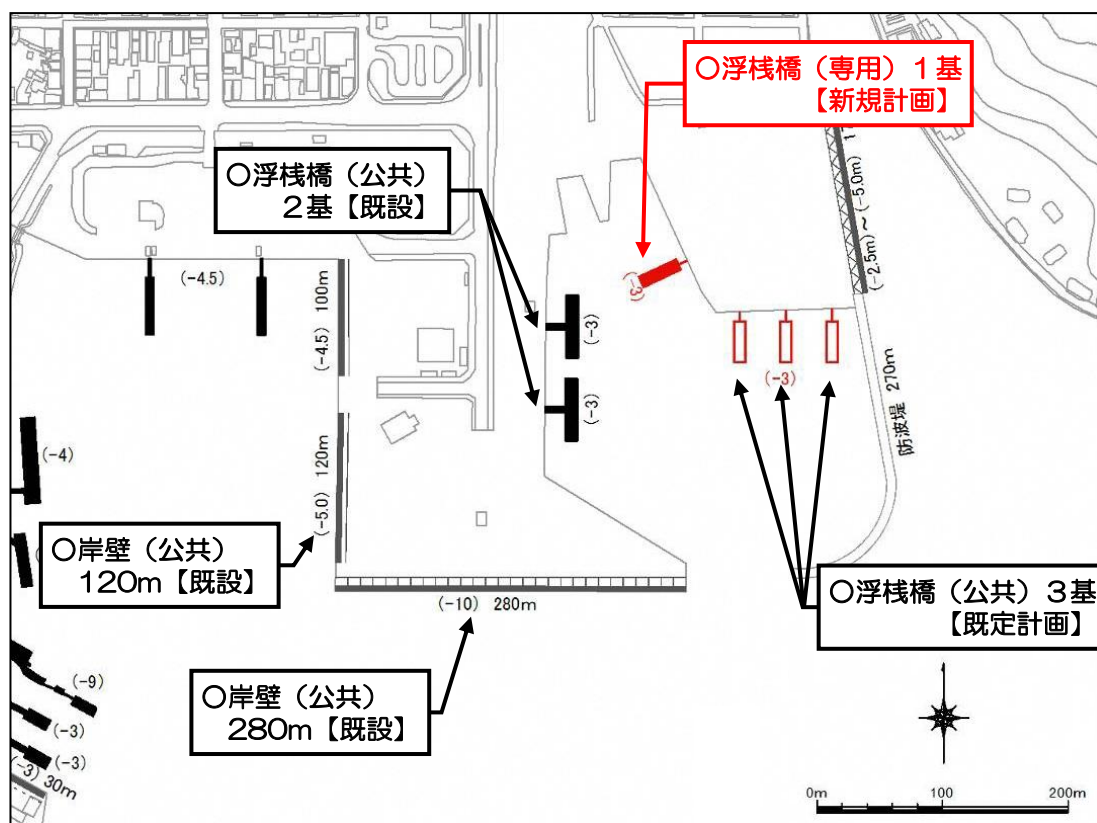


図 2.1 旅客船埠頭計画位置図

3 その他の資料

3-1 環境の保全に関する資料

(1) 大気質への影響と評価

今回の計画変更において、新たな大気汚染の発生源はないことから、本計画が大気質に与える影響は軽微であると考えられる。

(2) 水質への影響と評価

今回の計画変更において、水質汚濁負荷の増加を伴うような施設の計画はなく、潮流の変化もないことから、水質への影響は軽微であると考えられる。

(3) 騒音・振動への影響と評価

今回の計画変更において、騒音・振動に著しく影響を与える発生源はないことから、本計画が騒音・振動に与える影響は軽微であると考えられる。

(4) 生態系への影響と評価

本計画が大気質、水質、騒音・振動に及ぼす影響も軽微なことから、生態系に及ぼす影響も軽微であると考えられる。

以上より、今回の計画変更が環境に及ぼす影響について検討した結果、その影響は軽微なものであると考えられる。

なお、今後とも環境保全について、十分配慮するとともに、計画実施にあたっては、環境に与える影響を少なくするよう努めることとする。

3－2 新旧法線対象図

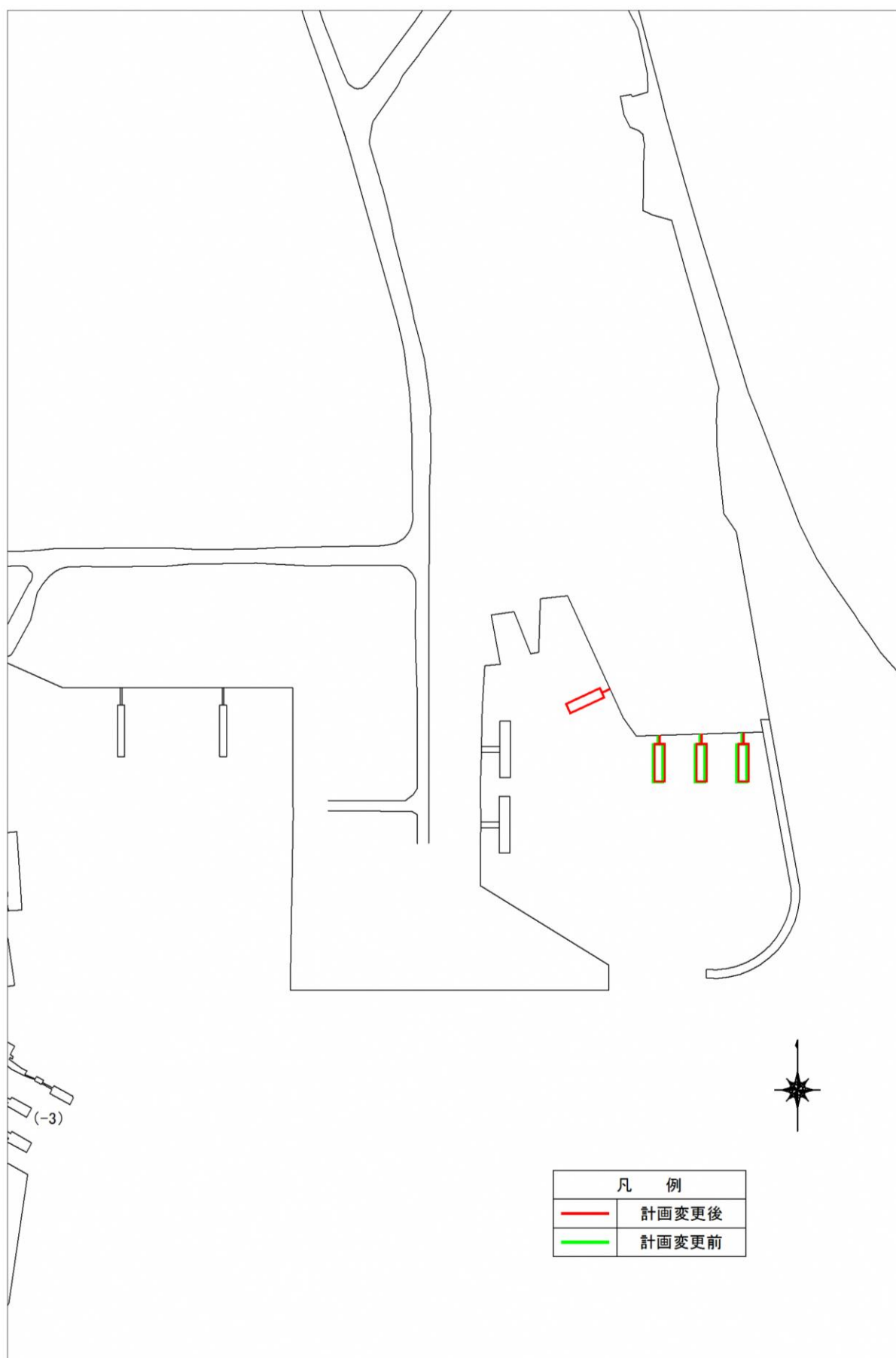


図 3.1 新旧法線対象図

3－3 岡山県地方港湾審議会宇野港部会委員名簿

(平成30年10月現在)

1 学識経験を有する者

千葉 喬三	学校法人 中国学園 学長
井上 欣三	国立大学法人 神戸大学大学院海事科学研究科 名誉教授
松多 信尚	国立大学法人 岡山大学大学院教育学研究科 教授
横田 都志子	unita 設計室一級建築士事務所 二級建築士
片山 浩子	学校法人 就実学園 理事
金澤 寛	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 顧問

2 港湾関係者

岡崎 彬	岡山県商工会議所連合会 会長
井本 瀧雄	岡山県漁業協同組合連合会 会長
木元 康文	岡山地区旅客船協会 会長
大塚 浩	内海水先区水先人会 副会長
村瀬 勇人	中国地方港運協会 副会長
末長 範彦	岡山県倉庫協会 会長
久本 久治	岡山県船主協議会 理事長
遊佐 清和	全日本海員組合尾道支部 支部長

3 市町村を代表する者

黒田 晋	玉野市長
------	------

4 県議会の議員

神宝 謙一	岡山県議会議員
加藤 浩久	岡山県議会議員

5 関係行政機関の職員

脇坂 敏	財務省 神戸税関 宇野税関支署長
水谷 誠	国土交通省 中国地方整備局長
岡田 和史	国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局長
花野 一誠	海上保安庁 第六管区海上保安本部 玉野海上保安部長 宇野港長